

病院新外来棟の完成

2015(平成27)年9月

徳島大学では、1995(平成7)年より病院再開発計画を進めており、東病棟、中央診療棟、西病棟に続き、2015(平成27)年に新外来診療棟が完成した。これにより、足掛け20年にわたる再開発計画が完了した。

新外来診療棟の内装は、白を基調とした明るい色調とし、LED照明や大きな窓と合わせて広い空間を演出している。さらに、患者と病院スタッフの動線を分けることで落ち着いた環境を実現した。またブロック受付を導入し、待ち時間の短縮、混雑の解消、利便性の向上を目指した。

1階には総合案内、総合受付、患者支援センターを配置し、患者の診療手続き、各種相談、入退院手続き、地域連携業務等を集約し、サービス向上に努めている。

1階南側にはアメニティテラスを設け、アメニティテラスに面して喫茶店、うどん店、コンビニ、郵便局などを配置することで、くつろぎの空間として利用できるようにしている。

1階から3階が医科外来部門、4階が歯科外来部門となり、別棟だった医科と歯科が同居し、より一層の連携強化を図っている。

4階には、ハイブリッド手術室と手術支援ロボット・ダヴィンチ用手術室を設置。従来の中央手術部と廊下で直結し、一体運用が可能となっている。

5階には、事務部、看護部等の管理部門のほか、学外者が利用可能な会議室を設置した。

